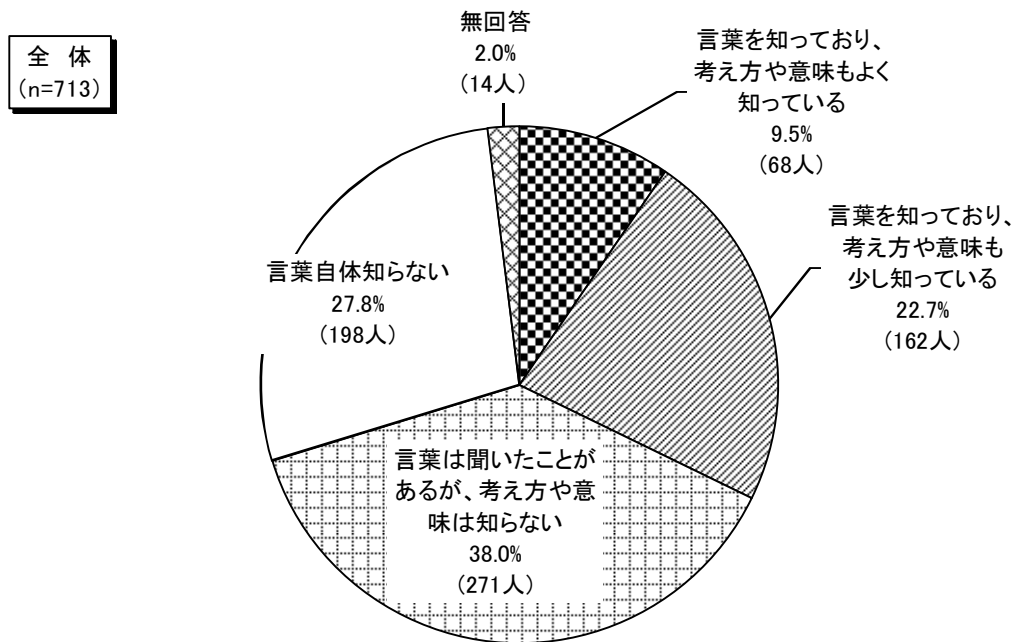


## 4. ユニバーサルデザインについて

### (1) 言葉の認知状況

問 15 あなたは、ユニバーサルデザインという言葉について知っていますか。  
あてはまるもの1つに○をつけてください。

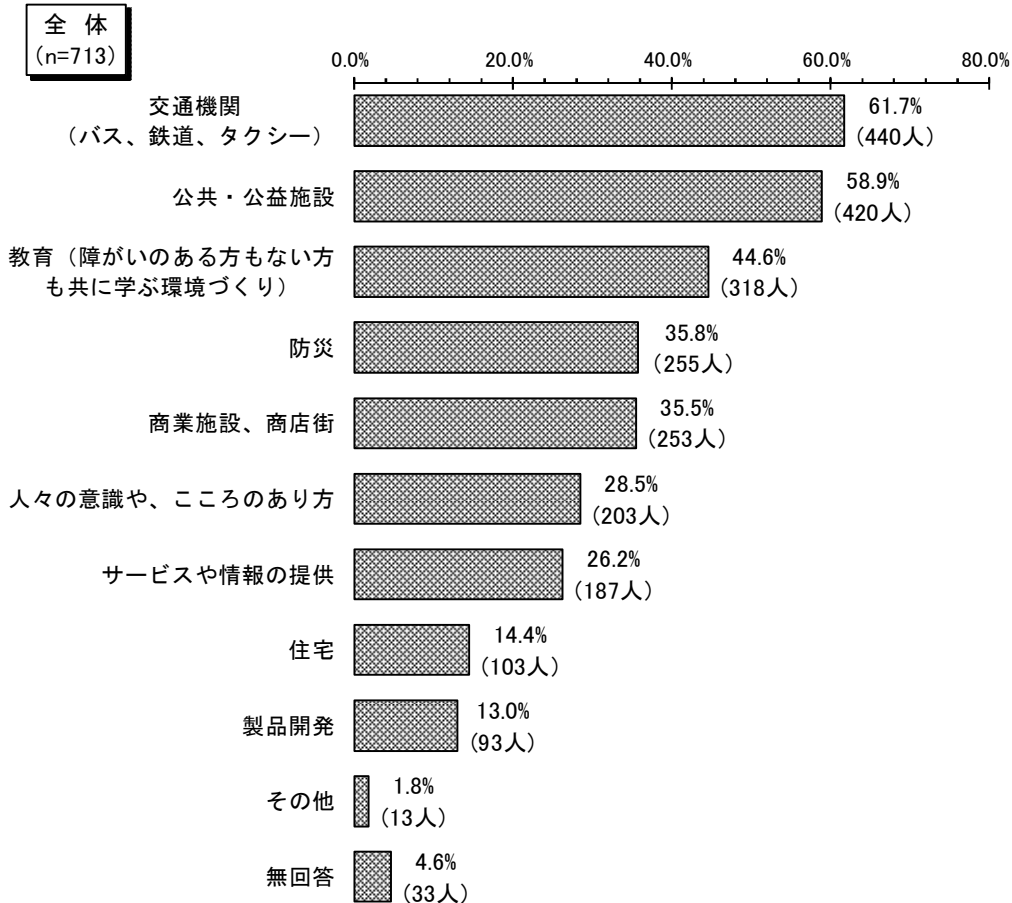


ユニバーサルデザインという言葉について、「言葉は聞いたことがあるが、考え方や意味は知らない」(38.0%)の割合が最も高く、次いで、「言葉自体知らない」(27.8%)となっている。以下、「言葉を覚えており、考え方や意味を少し知っている」(22.7%)、「言葉を覚えており、考え方や意味もよく知っている」(9.5%)と続いている。

## (2) 導入が必要なもの

問 16 あなたが、県内で、ユニバーサルデザインの考え方を導入することが必要だと考えるのはどれですか。

あてはまるものにもいくつでも○をつけてください。(複数回答可)



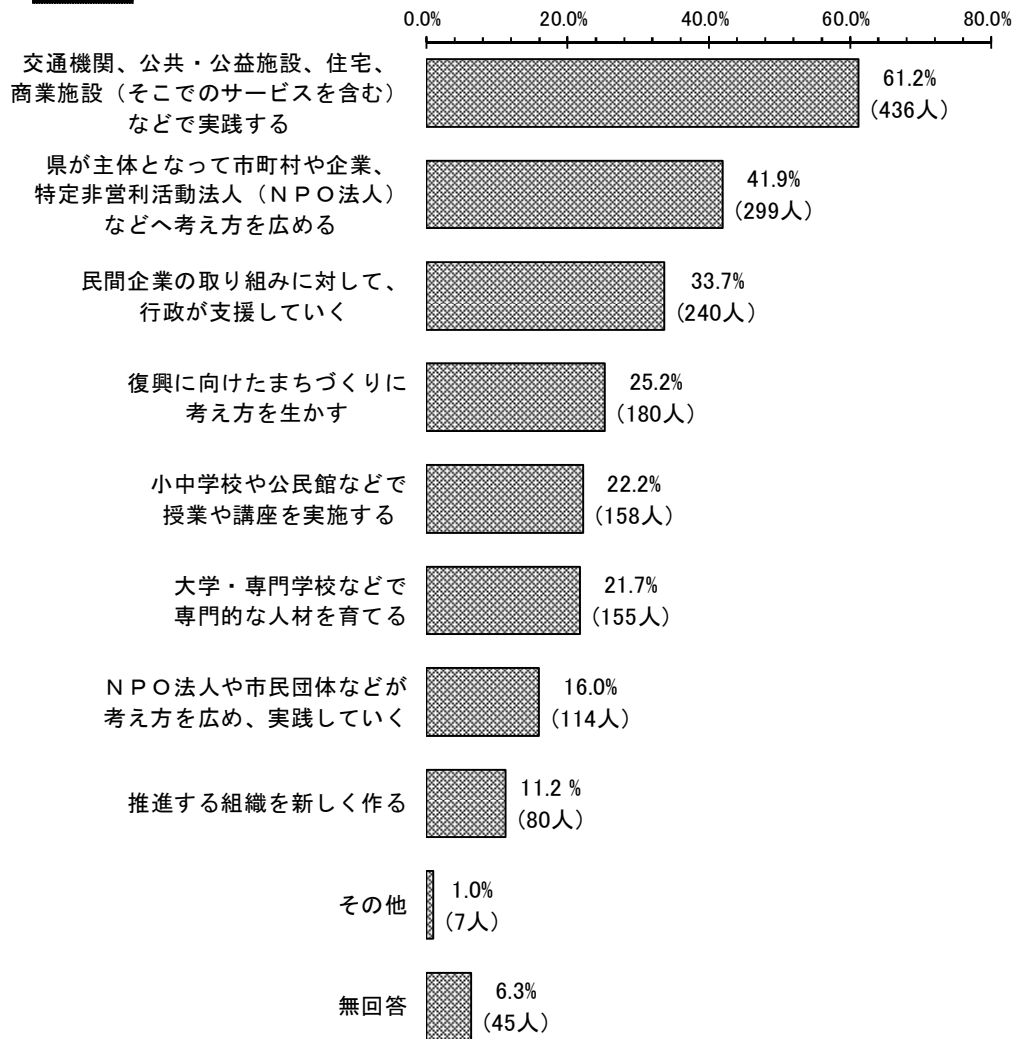
ユニバーサルデザインの考え方の導入が必要なものとしては、「交通機関 (バス、鉄道、タクシー)」(61.7%)の割合が最も高く、次いで、「公共・公益施設」(58.9%)が続き、以下、「教育 (障がいのある方もない方も共に学ぶ環境づくり)」(44.6%)、「防災」(35.8%)、「商業施設、商店街」(35.5%)、「人々の意識や、こころのあり方」(28.5%)、「サービスや情報の提供」(26.2%)となっている。

### (3) 推進するために重要なもの

問17 あなたは、県内でユニバーサルデザインを推進するために、どのようなことが重要だと思いますか。

最も重要だと考えるもの3つまで○をつけてください。

全体  
(n=713)



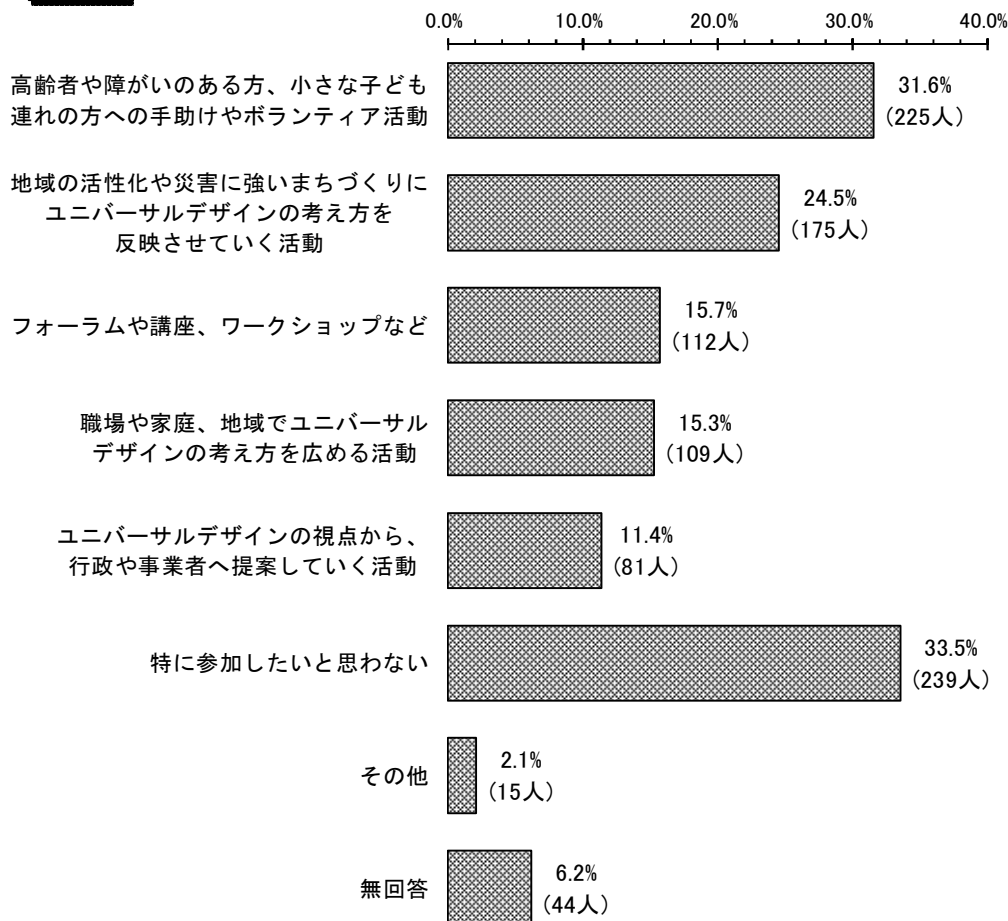
ユニバーサルデザインを推進するために重要なものとしては、「交通機関、公共・公益施設、住宅、商業施設（そこでのサービスを含む）などで実践する」（61.2%）の割合が6割強で最も高く、次いで、「県が主体となって市町村や企業、特定非営利活動法人（NPO法人）などへ考え方を広める」（41.9%）が続き、以下、「民間企業の取り組みに対して、行政が支援していく」（33.7%）、「復興に向けたまちづくりに考え方を生かす」（25.2%）、「小中学校や公民館などで授業や講座を実施する」（22.2%）、「大学・専門学校などで専門的な人材を育てる」（21.7%）となっている。

#### (4) 参加したい活動

問 18 あなたは、ユニバーサルデザインに関する活動で、参加したいものがありますか。

あてはまるものにもいくつでも○をつけてください。(複数回答可)

全体  
(n=713)



ユニバーサルデザインに関する活動で参加したいものとしては、「高齢者や障がいのある方、小さな子ども連れの方への手助けやボランティア活動」(31.6%)の割合が最も高く、次いで、「地域の活性化や災害に強いまちづくりにユニバーサルデザインの考え方を反映させていく活動」(24.5%)が続き、以下、「フォーラムや講座、ワークショップなど」(15.7%)、「職場や家庭、地域でユニバーサルデザインの考え方を広める活動」(15.3%)、「ユニバーサルデザインの視点から、行政や事業者へ提案していく活動」(11.4%)となっている。

一方、「特に参加したいと思わない」(33.5%)の割合は、3割強と高くなっている。